

ブドウの枝から根？！

今年、ブドウ園でよく見かける幹や枝から発生している根のような物体（右写真）。現地から、

- ・これは何ですか？
- ・なぜ発生するの？
- ・ブドウに問題はあるの？
- ・そのままにしても大丈夫？

といった問い合わせがあります。

この物体の正体は“気根”といって今年は特によく見かけます。

気根は定期的に降雨がある年に発生しがちですが、実はこの気根が発生することは土壌や生育に問題があり、ブドウの樹が悲鳴を上げているのです。

この危険信号を見逃すことなく、適切な管理で今年のブドウ栽培へつなげて下さい。



1. 酸素不足とその対応

ブドウの根は、果樹の中でも酸素要求度が高い作物です。そのため土壌中の酸素量が不足すると、大気中の酸素を取り込もうと、幹や枝から気根を発生させます。

ブドウは傾斜地での栽培が多く、土壌耕起による通気性の向上が困難です。また、土壌 pH の矯正や維持に石灰資材を多用・連用する傾向にあります。その結果、土壌は固くしまった気相が少ない酸欠状態となり、気根が発生していることが考えられます。

○土壌が固く排水が悪い土壌

⇒ **ネガアップで物理性の改善 4～5袋/10a（6月、11～12月）**



2. 強樹勢とその対応

春根の発根量に対して、新梢の伸長や葉の展葉が旺盛になると、地上部の葉面積を養うだけの根量が不足するため、気根を発生させます。

今年の4～5月は朝晩の気温が低く、また降雨もあって地温が上がりにくく、春根の動きが鈍かったです。今冬に強せん定した覚えがある圃場や、今の結果枝を診て花芽（花穂）の着生が少ない場合は強樹勢となっており、地上部と地下部のバランスが崩れ、気根を発生させていることが考えられます。

○新梢が旺盛で葉色が濃い強樹勢

⇒ **マグホスで樹勢の調整・発根の促進 4～5袋/10a（6月、9月）**



3. 気根の処理

気根は休眠期になると枯死しますが、そのまま放置すると巻きひげと同じように黒とう病や晩腐病など病原菌の越冬場所となります。そこで翌年の病害発生リスクを軽減するためにもせん定の際に除去することが好ましいです。

【公式 YouTube チャンネル（肥料の寺子屋）】 チャンネル登録をお願いします。🕶️

ホームページ URL <https://www.takichem.co.jp/> メールアドレス aguri@takichem.co.jp

多木化学㈱アグリサービス室 井上直哉

